



江戸奉行所裁判 の現代司法への 承継

（日本の司法は世界の中で
どう位置づけられるか）

園尾 隆司 弁護士

（元東京高等裁判所部総括判事・長官代行）

ご講演内容

- ◎ 日本の現代と江戸時代との関係
- ◎ 江戸時代の裁判の公正さの起源はどこにあったか
- ◎ 江戸の裁判の変容とその限度
～世界と比較した日本の裁判の現状

6月21日(金) 14:55～16:25
成蹊大学 8号館 203 教室 (2階)

長年に亘り裁判官として第一線で活躍し、特に事業再生・倒産分野におけるオピニオンリーダーの一人であり、東京地方裁判所民事 20 部（破産再生部）部総括判事時代に確立した民事再生実務や少額管財制度は、現在の事業再生実務の基礎を築いたものとして各方面より高く評価されている。

園尾先生略歴▶▶▶▶▶東京地方裁判所部総括判事、宇都宮地方裁判所所長、静岡地方裁判所所長、東京高等裁判所部総括判事、東京高等裁判所長官代行判事等を経て、裁判官を定年退官後、2014 年に弁護士登録。現在、西村あさひ法律事務所オブカウンセル。

主な書籍・論文▶▶▶▶▶『民事訴訟・執行・破産の近現代史』（弘文堂、2009 年）

「破産者への制裁の歴史と倒産法制の将来」民事訴訟雑誌 61 号（2015 年）

「債務者の破産申立義務の歴史からみた倒産法制の課題」金融法務事情 2012 号（2015 年）

「今治海事クラスターにみる村上水軍の系譜（上）（下）」金融法務事情 2078・2079 号（2017 年）他多数。

◎入場無料◎予約不要◎